

KOCHI 2016 ROTARY 2017 CLUB SINCE 1937



2016-17年度 RIテーマ

週報



Weekly report

第3275回
第3276回

2016年 9月27日

2016年10月 4日

2016年10月11日発行

● 会長挨拶

皆さん、こんにちは。

今月の日経新聞の朝刊文化面は楽しみです。私の履歴書を連載している吉野家会長の安部修仁さんは、私と同世代ということもあって、若い頃の血湧き肉踊る思いで楽しく読んでいます。そんな吉野家の牛丼は月に1度は食べたくなるのですが、何か脳内ホルモンの一種が入っているのではないかと思ったりもします。

もう一つは、伊集院静氏の連載小説 サントリーの鳥井信治郎の「琥珀の夢」です。

物語は、主人公がまだ丁稚修行中のところですが。私もウイスキーが大好きなのでこれからの展開が大いに楽しみです。

先々週の週末は、北海道の友人の送別会ではるばる会いに行き、余市のニッカ工場でもマッサンにも会って来ま

した。入場料や建物をぐるぐる案内する可愛いガイドの料金も、最後の竹鶴の試飲もすべてただでした。さすがマッサン太っ腹と言いながら4、5杯は飲んでしまいました。

それにしても日経文化欄のモノクロの写真や絵は何とかならないでしょうか。同じ購読料なのに。主要都市ではカラーです。田舎は、いわゆる土佐弁でいうやしべられてるのかなと思っていたら、先日の北海道のホテルで、産経新聞は1日遅れだと聞いてびっくりしました。これも田舎モンをやっかみでしょうか。

本日は情報夜間例会の報告です。のちほどよろしくお願ひします。



■本日のプログラム [10月11日]

ゲストスピーチ

米山奨学生 エンフバータル・エンフジル 氏

会 長	川 添 昇
副 会 長	高 村 禎 二
幹 事	伊 丹 由 美
副 幹 事	高 橋 明 子
会報責任者	森 木 潤 一 郎

9月27日 例会



- **ロータリーソング** 「小さい秋みつけた」
- **今週のピアノ曲** 「白いブランコ」 ピアノ演奏：山内り会員
- **新入会員紹介**

● **山崎達成氏挨拶**

高知市の朝倉で高校生まで過ごしました。こちらの川添会長の病院に私の母が看護師として長年お世話になっていました。高知での勤務は新入社員以来30年振りです。会社では平成14年から介護事業の運営子会社の代表として7年ほど苦労しました。その後、電力に復帰して今に至っています。このように多士済々の会にお呼びいただき、誠に光栄です。今後ともよろしく願います。

● **退会挨拶** 五十嵐武会員



5年間、本当に皆さまにはお世話になりました。ありがとうございました。まだまだ高知でやりたいこと、微力ながらも高知のためにしたいことがあります。今、新入会員の方のご紹介がありましたが、これから入られる方が羨ましいなと思います。まだ、高知を去ることが信じられない気持ちです。5年前、本社を説得してこのクラブに入って本当に良かったと感じています。もし入会していなければ、味気ない5年間だっただろうなと心から思います。ロータリーの活動もそうですが、皆さんとも本当に深いお付き合いをさせていただきました。

来月から、中国の広州にまいります。高知と広州の架け橋になって高知のために力を尽くしていきたいと思っておりますので、これからもよろしく願います。どうもありがとうございました。

● **幹事報告**

- ・高知東RCの稲田覚会員のご葬儀への供花のお礼が届いています。
- ・前田ガバナーより公式訪問のお礼が届いています。
- ・「教えてロータリー」のDVDが届いています。
- ・世界のポリオデー関連イベントの情報についての依頼があり、改めてご連絡します。

● **親睦委員会より**

火曜会&会員交流会として、「紅葉の観賞とアサヒビール」ツアーを企画しています。ぜひ多くの皆さんに参加をお願いします。詳細はFAXにて。

◆ **情報集会報告 第1回 テーマ「ロータリーと青春」**

◎ **A班 (発表・森 恒一郎会員)**

- ・青春イコールキャンディーズ。
- ・異性といると年を忘れる、それが青春。
- ・青春の話はない。病気の話ばかりだ。
- ・ロータリーに入ったことで青春を再度実感した。
- ・ロータリーに入ると新人の気持



ちを味わえる。

- ・この年になって、人と手をつないで歌ったりすることは他では経験できない。
- ・この年になって、先輩の言うことをたくさん聞かなくてはいけなくて、こき使われる。これも青春そのもの。
- ・先輩がたくさんいるので、社内ではできない相談や甘えることが、業種を越えてできる。
- ・親睦の組織があることで、たくさんの人に会えて



フレッシュ感がある。

- ・高知ロータリーは特別なのではない。他県からの支店長などが入会するので、入れ替わりがあり、常にフレッシュな感覚がある。
- ・女性比率も多いので新鮮である。
- ・女性はバイタリティがあり強い。同じ年齢なら女性には叶わない。

◎C班（発表・森本道義会員）

結論として、青春というのは心の有り様である。自分が主役で自由に好きなようにできる状況が青春ではないか。学校を卒業して社会に入って、家庭を持って子どもが生まれて、育てて、会社や組織で役職を任せられ、今まで随分忙しかった。ある意味、周りとのバランスを考える必要もあった中で、いろんなことを考えて、好き勝手はできなかったように思う。



今、一つの区切りを終えて、自分の時間が持てるようになった。残された時間をどうやって生きるのかを決められる。これこそが青春じゃないか。この第二の青春、人生を楽しみたい。これがまさしくロータリー活動と一致するのではないか。

青春に関しては

- ・苦しいことを乗り越える楽しさイコール青春
- ・青春とは好きになること、わくわく感、趣味といったものが青春につながる
- ・20歳のときから気持ち的には何も変わっていない
- ・人生においていいことは覚えているが、悪いことは忘れることが大事
- ・青春とは感激があること、理想に向かって邁進しているさま

このあとは、教育への無関心、文科省への駄目出し、社会に教育力がなくなった。このままでは、世界の3流国になってしまう。また、好きなことをするのが青春だが、最近の子どもは好きなことを見つけることもしない。自分のしたいことも分からない。みんなと一緒に一番、これでは青春じゃないのではないか。といった意見が出た。

◎E班（発表・泉田 優会員）

- ・アナウンサーになりたいくて、学費を払って学校に通ったが、不採用通知で学費は無駄に。しかし、高知RCに入会した今、その学費が生きているように思う。
- ・ロータリーと青春ではなく、ロータリーの青春だろうという助詞の使い方に至るいごっそうな意見
- ・グループ夜間例会の原点は、ファイヤーサイドミーティングで、暖炉の横で親しく語り合うというもの



だった。

- ・奉仕の心を持ったロータリアンはいつまでも青春なんだ
- 青春ということから発展して、昔話になっていき、
- ・安田講堂事件、浅間山荘事件、あほやなとテレビを見ていた
- ・6ヵ月で1500時間の残業をして十二指腸潰瘍になった
- ・当時は共産系の組合に対抗して、会社が後ろ支えている御用組合があった
- ・すごい率でのベースアップがあった
- ・上司の誘いは断れなかった
- ・定期の金利が2年物で8%だった
- ・オイルショックで大学からトイレトペーパーを持ち帰る学生がいた
- ・所得倍増論
- ・企業や組織の寿命はどんなに栄えても100年だろう。100年続いたロータリークラブという組織も変わらないといけない時代を迎えているのかもしれない。どのように変わらなければいけないのか。変えていいものは何か。変えてはいけないものは何か。それを考える時期に来ているのかもしれない。

いろんな話が出ましたが、青春という言葉で皆さんが花が咲くのは、やはり若いころの話だということです。

◎H班（発表・五十嵐 武会員）

それぞれの青春時代の思い出を話そうということになり

- ・自分たちの青春時代は学生運動が盛んで、国鉄が頻繁にストライキをして、浅間山荘事件、世間ではいろんな事件が起こっていた。今の学生と違って熱中する、燃え上がるものがあるという学生がいて、一方でノンポリの学生もいる。この差は一体何だろう。
- ・70年安保、三島事件など、テレビを食い入るように見ていた。
- ・入社まもなくがバブルの時代で、東京で勤務していたときはタクシー使いたい放題だった。
- ・学生時代がやはり青春だった
- ・自分の青春はゴルフだった
- ・最近の子どもたちは可哀想だ。自由がなくて、かつ親がモンスターペアレントで、過剰に子どもに対して介入をする。自分で考えられなくなっている。昔は、自分たちで遊びを考えて、工夫して遊んでいた。今の子どもたちは、本当に青春を楽しんでいるのだろうか。もし、戻れるとしたらどの時代に戻りたいか
- ・昔から積み上げてきたもので今があるから、過去の後悔も含めて今が一番いい。
- ・青春とはやはり心の有り様ではないか。



10月4日 創立記念夜間例会

● ロータリーソング「君が代」「我らの生業」

● 会長挨拶



皆さんこんばんは。今夜は創立79周年の夜間例会です。来年はいよいよ80周年を迎えます。企画準備委員会の土本昭雄委員長のもと、クラブの皆さんの一致協力をお願いいたします。

70周年の時の会員数は90人でしたが、足かけ10年経った現時点で92名でずっと80～90名代をキープできています。とっってもすばらしいことだと思います。

70周年の記念事業としてスタートされた燦燦基金の支援奨学生も13名を数え、先日のガバナー公式訪問の際には、ガバナーより全国的にも稀な有意義な事業であるとお褒めをいただきました。

私個人として嬉しかったのは、立派な70周年記念誌を作っていただき会員の横顔欄に好きな漢字1字を残していただいたことです。ちなみに私の1字はさんずいの「河」でした。

高校時代に読んだとても難解なロマン・ロランの「魅せられたる魂」の主人公アンネットの波瀾万丈の人生を滔々と流れる「リヴィエール(川)」と喩えています。私の人生を川に喩えると今は河口に近づいた豊かな汽水域云々と書いています。

当時は私は九反田橋あたりかと思っていましたが、今はもうすでに浦戸湾に入っているようです。まだ巢山までは行っていないと思いますが、やがて浦戸を通過して海に向かうのではないかと考えています。

本日の卓話は、元会員で70周年企画委員会・委員長を務められました野中朋之のなかともゆき様の卓話です。演題は「70周年記念事業の目指したもの」です。後ほどよろしく願いいたします。

● お客様

火曜会 中澤佐紀子さん(中澤陽一会員奥様)

米山記念奨学生 ムチャंगा・シファ・ジョウエレさん

夫 バランベラ・パピ・エトンゴラさん

子供 オロノエさん ヴィナスさん ベラムベラ・レイラ・マナミさん

● 幹事報告

・10月のロータリーレートは1ドル102円。

・ロータリー財団から100周年記念の協力金の要請があり、理事会で1人当たり250円となりましたので、ご了承をお願いします。

● 親睦委員会より

火曜会&会員交流会への子どもさんの参加料金は4,000円に変更になります。

ぜひ多くの皆さんに参加をお願いします。

◆ 情報集会報告 第2回 テーマ「ロータリーと青春」



◎D班(発表・甘田量一会員)

・若かりし頃、学生時代の青春といえば、酒とギャンブルだった。

・短期留学で娘と一緒にアメリカに行った時楽しかったし、有意義だった。ロータリーにおいても、いつまで経っても青春というのは感じられるんじゃないだろうか。



● ゲストスピーチ

70周年記念事業の目指したもの

元会員 野中 朋之 氏



創立70周年（2007年）の2年前、2005年10月に準備会ができ、吉村浩二さん、横田英樹さん、西山彰一さん、私の4人が命を受けました。情報集会、卓話等々の中から情報を集め、70年を振り返り、これからの活動をどうしていくかを方向として基本計画を作成。当時の会員

数90名。四国一のクラブとして内容も充実していましたが、その陰にある先人達の筆舌に尽くしがたいご苦勞を忘れてはいけないということをお頭において、作業を始めました。

昭和12年のチャーターメンバーは皆さん鬼籍に入られ、また24年に再開したときのメンバーも全員おいでません。あるのは40周年と50周年の記念誌のみ。高知ロータリーは、昭和12年10月2日に24名の会員で、全国で33番目、四国で3番目のクラブとして誕生。私が入会したのがちょうど40周年のときで、記念誌編纂委員に加わったことから、40周年誌を作成するにあたり、それまでの週報を全て読み、改めてこのクラブ週報はクラブの歴史そのものだと思います。

週報の記事を一つ、二つ、ご紹介しますと、1939（昭和14）年6月6日の例会では、宇田耕一会員に召集令状が届き、少量の酒と鯛で武運長久を祈った。ゲストスピーチは土井晩翠。例会場に憲兵が来て監視という記録もあります。昭和15年、RIから脱退。軍の命令でロータリークラブの名称、例会が禁止される等々。

戦時中RIから脱退せざるを得なかった時代でも、火曜会と称して、例会を一度も休むことなく続け、このロータリーのともしびを消すことなく頑張ってきたという、先人たちの揺るぎない信念・信頼と不屈の精神のおかげで、この高知ロータリーは歩み続けることができました。そして、そういう苦勞が、戦後ロータリーの再開後、発展する過程で非常に大きな力となっていることを忘れてはいけないと同時に、高知で最初にでき、現在の県下15のロータリー体制のもととなった大元のロータリークラブですから、自分のクラブのことだけではなく、他のクラブに対しても手を差し伸べ、お互いに協力していく、そういう自覚が高知ロータリークラブには求められている。こういったことを、70周年を振り返っての総括としました。

ロータリー活動のこれからのあり方については、この2年前に国際ロータリー100周年を迎えて、RIでも今ロータリーはどこにいるのか、どこへ向かっているのか、正しい方向へ向かっているのか、そういうような議論が盛んに行われました。

そこで、ロータリーの一番の基本である職業奉仕がないがしろにされているという反省が強くなりました。世界最大のエネルギー会社であるエンロンが信じられない不正をしたエンロン事件を例に挙げ、RIの元会長たちが立ち上が

り、今こそ職業倫理、つまり職業奉仕を大事にするべきであるということをお声を大にして唱えました。会員と寄附金を増やし、どんどん国際奉仕に投入し、それで世界から貧困を追放できるのかと。国家が連合して取り掛かっても解決できない問題を、果たしてロータリーが解決できるのか。また、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕が3大柱で、社会奉仕の枝分かれとして国際奉仕があるわけですが、その当時の活動はほとんど国際奉仕が中心になっているがそれでいいのかと。奉仕は身近なところからというロータリーの基本原則に照らすと、どうもおかしい。基本に立ち返るべきではないかと、そういう議論が盛んにされました。

それを受けて、わが高知ロータリークラブも70周年からのあり方としてどういう活動をすべきかということをお議論して、それを70周年事業計画に盛り込んでいったわけです。

この70周年事業には大きな柱が3つあります。1つは記念式典とパーティー、もう1つは70周年記念誌の編纂、3番目に国際ロータリー100周年の反省を踏まえて、地域のために何かしようよということです。

式典とパーティーは、ごく内輪の会にして簡素でかつ楽しくやろう。招待者もお会員の家族、元会員、地区ガバナー、地区幹事、市内8クラブの会長・幹事だけ、後は大っぴらに参加を呼び掛けないということにしました。70周年記念誌が最大の記念品であるということで、記念品は用意しない。3つ目の地域のために何かしようよということについては、情報集会での1会員の素朴な問いかけから始まりました。

今のロータリーは国際奉仕に力を入れて、たくさんの留学生の派遣・受け入れに多額の費用を使っている。一方で高知県の高校では、家庭の経済事情で授業料免除を受けている学生が1学年につき400～500人いる。能力も意欲もありながら進学ができない。そういう学生に学費を出して、将来の高知を担う若者を育てることが高知にあるロータリーとして一番やるべきことじゃないか。この高知クラブには各界の有力な方がいながら、地域社会から見ると非常に存在感が薄い。まさに今こそ地域に目を向けるときではないか。この意見に会員たちが賛成し、教育支援事業へと発展していったわけです。

そして、横田英樹会員には「人材を育てよう」と言った観点からスピーチをしていただいて、徐々に骨格をつくっていききました。具体的には、市内の県立高校から高知大学・県立大学に合格した中から2人を選んで、入学から卒業までの4年間、月額1万円の学業支援で、卒業後に返還を求めないこととしました。

2006年12月、事業計画が出来上がり、2007年1月9日計画を発表、事業がスタートしました。以来、9年。80周年まであと1年。どうか、濃密な計画を検討され、素晴らしい80周年記念ができることをお祈りしています。



 10月のお祝い

(会員誕生日)	吉原 馨	土倉義浩	川添 博	山崎達成	各会員
(配偶者誕生日)	筒井美千子	林田由紀子	松岡厚子	岡 美智	梅野和子
	山崎るみ	中澤芳江	川添郁子	尾木郁美	各会員配偶者
(結婚記念日)	川崎卓巳	町田照代	古谷純代	高橋淳二	泉田 優
	中澤陽一	南 範子	吉澤文治郎	山崎達成	各会員

◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイクアップ	出席率
9月27日	(-5)93	62	11	15	87.50
9月 6日	(-9)91	54	8	19	89.02
9月13日	(-6)92	65	9	12	89.02

◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイクアップ	出席率
10月 4日	(-8)92	51	16	17	80.95
9月20日	台風のため休会				

◇ 例 会 変 更 ◇

高知東RC	10月12日	夜間例会(阪)	高知中央RC	10月13日	職場例会(城)
高知南RC	10月20日	ロータリー休日(阪)	高知南RC	10月27日	夜間例会(阪)
高知北RC	10月31日	炉辺夜間例会(三)	高知RC	11月8日	ロータリー休日(三)
高知ロイヤルRC	11月8日	夜間例会(旭)	高知南RC	11月10日	ロータリー休日(阪)
高知西RC	11月11日→8日	夜間例会に変更(三)	高知中央RC	11月17日	職場例会(城)
高知ロイヤルRC	11月22日	植樹例会に変更(旭)	高知ロイヤルRC	11月29日	ロータリー休日(旭)

※例会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル

 **ニコニコ箱** 【9月27日】

- 五十嵐 武 5年間お世話になりありがとうございました。たくさんの思い出を胸に広州に旅立ちます。高知への恩返しとして、来月は機内誌、ビデオ、機内食で高知の大特集をいたします。ご期待ください。なお、私の後任は同期、同い年の「イソムラ」が函館より着任します。ロータリーの楽しさを教えてあげてください。
- 竹下 篤範 先々週の例会の集合写真のあと、うっかりネームプレートを持ち帰ってしまいました。事務局にお詫びを込めてニコニコします。

● 累計額 [10月4日現在]

ニコニコ箱	264,700円	ロータリー ^{さんさん} 燦燦基金	86,280円	ポリオ募金	82,600円
-------	----------	----------------------------	---------	-------	---------

■ 次週のプログラム [10月18日]

新入会員スピーチ
紫藤 秀久 会員
「脱サラ弁護士の事件簿」

創 立 昭和12年10月
例 会 日 火曜日 12:30~13:30
例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131
事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館1階
TEL(824)8660 FAX(824)2529
E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp
HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>